

木馬会会報 (第55号)

＊宝塚記念特集＊



96/07/05

～木馬達の予想～

本誌復帰 こだわりの“へな”

宝塚記念

◎…マヤノトップガン ○…ダンスパートナー ▲…カネツクロス
△…カミノマジック フジヤマケンザン オースミタイクーン サンデーブランチ

…“へな”の理屈…

～マヤノトップガンって強い？～

菊花賞・有馬記念とG Iを2勝していながら、あまり強いという印象のなかった不思議なトップガン。しかし、あのブライアンとの名勝負を演じた阪神大賞典以来、強いと感じるようになったのは私だけではあるまい。もし、あのレースのすぐ後に今回の宝塚があったならば、当然断然の1番人気になっているだろう。ならば今回も簡単。前走の5着で評価を落とす事はなし。自分の競馬をしさえすれば結果は自ずとついてくる。

相手はやっぱりオークスが強烈に印象に残っているダンスパートナー。2200が最も得意だけにトップガンとの1点でもいいと思うが、“へな”帝国を続けるために敢えて印は他の馬にも打つ。

トウインクルダンディの予想

宝塚記念

◎サンデーブランチ ○ゴールデンジャック ▲マヤノトップガン
△カミノマジック、カネツクロス、ダンスパートナー、フジヤマケンザン

このレース（メンバー）がG Iとは……。ただのオープン特別でもおかしくないメンバーで馬券購入の意思はまったくないが、初の本紙獲得に向けて予想だけはしっかりしなくてはと気合を入れている私である。

さて、おとなしくマヤノトップガンから流せば当るとは思うが、何故か今回は軸にしたくない。だからといって他に軸にできる馬もない。困った、どうしよう。えーい、今回は今はなきメニーフレンズ氏のように社台おじさんになってやる！ということで本命は唯一の社台馬サンデーブランチ。買えそうな理由を列挙すれば、父サンデーサイレンス、大舞台で人気薄を勝たせる騎手熊沢、休養明け4戦めでいよいよ本領発揮かといったところだが、昨年マヤノトップガンに今回と同距離で1秒離されている馬が勝てるとも思えず、今回は自ら当りを放棄したようなものかもしれない。

対抗も何にしようかと悩んだが、4歳時からの応援馬ゴールデンジャックで夢をみようと思う。ダンスパートナーに比べ断然人気は低い、切れ味は同馬と同じか、それ以上であると思う。そして牝馬ならの岸騎乗。可能性もなくはないか。と書いていけば普通当る予感がしてくるものだが、今回のこの2頭ではまったくしない。

最後に一言、夏はきらいだ。

栄蔵の1番弟子 T P

宝塚記念

～予想者の屁理屈～

だから前々から言っていただろう。日付をいくら後ろにずらしたって、宝塚記念は2流のG Iではないんだ。そんな事もわからないのかねえ、JRAは。

- ・菊花賞や天皇賞を目指す4歳馬が夏場に無理使いする訳がない。
- ・ここを使うと秋の1連のG Iを迎えるにあたって休養が取れない。
- ・宝塚に向かうレース体系になっていない。

安易に後ろにずらす事で4歳馬が参戦してくると思っているのだから大馬鹿者というしかない。馬や関係者の気持ちになったレース体系になっていない。そりゃファンあつての競馬なのは確かだが、1流馬が万全の態勢で出てくるからこそレースが面白くなり、ファンを引き付けるということを理解できていない。こんなことでは将来の日本の競馬が思いやられる。そこで私は以下のことを提案する。

- ①外国産馬もすべてのG Iに出走できるようにする。
- ②全く意味のない高松宮、宝塚、NHKマイルをG IIにし、ダートのG Iを春・秋に1レースづつ作る（距離は1600と2100）。
- ③既成のグレード体系にとらわれず、出走馬の質によってグレードを見直す。（ラジオたんぱ杯3歳SなんかはG IIでも良いと思う）

これでどうだ。かなり納得のいくレース体系になると思う。JARはとにかくグレードを上げれば売り上げも伸びると考えているようだが、そんなのでごまかせるのは一過性のミーハーファンだけである。CMも最近のはくだらなくて、見てるこっちが恥ずかしくなる。いいかげん先を見た改革をしてもらいたいものである。

ということで、怒りから始まった宝塚記念の予想だが、やはり、G IIメンバーになった。こんなG Iがあるか。高松宮レベルじゃないか。まあG IでもG IIでも配当率が高くなる訳ではなく、どのレースでも一緒。要はあたればいい。

さて、今年のメンバーで、どう転んでもいらないのはサージェント、ヒシナタリー、ホマレノクイン。なんでおまえら出てくんた？まがいなりにもG Iだぞ、G I。これで残るは10頭。続いて95%の確率でいらないのが、G Iどころか重賞でもまったく用なしの、オープン大将オースミタイクーン。距離も長いし、武で穴人気になってくれるが、ほぼいらない。カミノマジックも前走レコード勝ちとはいえ2500。さほど価値はないし、この馬も重賞では用なしのオープン大将。これで8頭。残った8頭だが、まずはトップガン。前走で抜けて強くはないことが判明したが、この相手ならちよっと実力が違うんじゃないの。休み明けの方が走るし、この距離はもっとも得意。G Iでもまれた実績を否応なく見せ付けることだろう。相手は絞れる、絞りたいところだが、ちょっと待った。他の馬はみんな信用ならず、どれが来てもおかしくないのである。2番手に押されるであろうカネツとダンスだが、カネツは函館記念（おいおい函館記念て8月中旬じゃなかったっけ？）を目標にしていたが、思ったより仕上がりが早いのでここに使うことになったのである。表面的にはできていても中身が伴っていない可能性はある。ダンスも京阪杯に勝ったもののその時の2着がタモンヤグラではあいてのレベルが知れようというもの。その他の牡馬相手の重賞では完敗の形であり、この相手ならと、ここで無防備に飛びつくのはいかがなものか。フジヤマももともとG Iでは用なし。サンデーブランチも戦ってきた相手を見るとG Iではまだ？と思わざるをえない。去年のダンツシア

トルや、札幌記念を楽勝したマーベラスサンデーのレベルにはまだまだ。ということで、他の7頭すべてに2着の可能性があるとの視点から、この頭数・メンツでもあることだし、レース展開を読むことで相手を考えていきたい。

まず逃げねば持ち味のないレガシーがぶったたいでもハナを奪いにいくだろう。休み明けのカネツも引っ掛かり気味に前に行く。ここ数戦のレースぶりからは逃げないとかなり掛かってしまうと思う。すんなりならばSペース。2頭が競ってしまうとMペースになるだろう。続いてフジヤマ、マヤノと続くか。ヤマニンがどう出るかわからないが、距離に不安もあることだし、あまりに掛かるようであれば押さえていくと思う。マヤノをぴったリマークでサンデー。早めの競馬をするというダンスが差もなくこの後。ヤマニンもこの辺か。ゴールデンのみ我が道を行くといった感じで後方。あとの馬はどうでもいい。3角まではどの馬も動かないだろう。さて、ここでマヤノの田原の心中だが、前のカネツ、後ろのダンスに気を配りながら、天皇賞のブライアンの二の舞はごめんだという気持ちはあるはず。この距離、このペースなら早め先頭でもスピードで押し切れると考え、3角で早くもスパートすると予想する。そうなるに越したことはないがマヤノより前にいる馬。特に捕まると味のないレガシー、一気に抜かれるとあとはだれるフジヤマにとってはとても厳しい。カネツも中身ができていない可能性は否定できず、予想外の失速も大いにあり得る。サンデーもこれがG1の流れか…つ・つらい。などと感じながら馬群にもがくかもしれない。そしてこのスローな流れでは直線勝負では届かないだろうからゴールデンにとっても苦しい。となると、中段で脚をためる牝馬2頭、ダンスとヤマニンにもっとも有利。有力馬の1頭で、自らマヤノを捉えに動くであろうダンスより、気楽に乗れるヤマニンの方がさらに優位ではないだろうか。

しかし！この予想の中にも不確定要素はある。まず、カネツがマヤノより早く動いてリードを奪ってしまう可能性がある。カネツとレガシーが競り合えばゴールデンでも届く。ヤマニンが引っ掛かって前に行ってしまう。サンデー熊沢が思い切ってしかけを一呼吸置く。ということでやっぱり当てるにはこの予想しかない。

◎…マヤノトップガン

△…ヤマニンパラダイス、サンデーブランチ、ダンスパートナー

カネツクロス、ゴールデンジャック、フジヤマケンザン、レガシーワールド

もちろん実際にこんなには買えないから、上位の5頭以内で倍率と相談しながら買うことになるだろう。

最近調子が悪い。まあ内馬場でねっころがって酒のみながらやってるんじゃないかなんだろうな。また今年は賭け金が去年の1/2なので、ちょっと損すると大きく回収率がダウンしてしまうのよね。今週は久しぶりに朝から競馬をやる予定。楽しみだなあ。現在の回収率91.0%。

四国の井崎

皆様お久しぶりです。ダービーのコンコルドでガーンとやられ、立ち直れない1ヶ月が過ぎました。なんかポツカリ魂が抜けたようになってしまいました。1ヶ月の回収率が50%ちょっとというのは過去に記憶にないひどさでした。

そんなせいか今週の宝塚記念についてはJRAに文句をまず言いたい。この暑いさなかのG1は最悪の番組編成であった。天皇賞を使った古馬の一流どころが宝塚まで使うレースがない。従来の時期の施行であれば、マヤノトップガンとナリタブライアンの対決がもう一度見られただろうに。そしてタイキブリザードも絶好調で参戦しただろう。ダービーのあとの安田記念ではどうもピンとこない。それほどファンはダービーで燃え尽きる。その翌週のG1なんていらん。安田記念を4オクラシックの総決算の前座に戻し、宝塚も元の開催に戻して欲しいと切に願う。JRAのもくろみはもろくも崩れた。こんな暑い時期に有馬記念の夏版をして売り上げ伸ばそうとしたって、4才有力馬は秋のクラシックも控えており、まず出走しないのである。

そして今回のこのメンバー。先週のマーベラスサンデーが出ておればおもしろかったかも知れないが、サンデーブランチでは話しにならない。ヒシアマゾンも出ないし、現在2200mでは1番強いタイキブリザードも出ない。姑息に歴代賞金王になったブライアンはバチがあたって屈腱炎になるし、当然ダービー馬コンコルドも出ない。有馬記念とは大違いだ。

宝塚記念

◎…カネツクロス ○…ダンスパートナー ▲…フジヤマケンザン

△…マヤノトップガン、オースミタイクーン、カミノマジック

文句ばっかし言っても予想はせねばならん。JRAの番組編成の被害を受けて1番人気マヤノトップガンは沈むかも知れない。短期放牧リフレッシュというのはそんなに簡単なのかと疑問を抱く。完全にマークされても勝ちきれる実力はあると認めるが、こういう変則ローテーションを組まねばならない被害を受けるに違いないとやけくそで考える。それほど腹をたてて予想している自分が哀しい。

そして出るはず。ライスシャワーの亡霊が。昨年宝塚記念8枠16番。ただし、8枠は先週の場のカシマドリームが8枠に入っただけに見事に連対したため2週続きとなってしまう。16頭立てにはならないでしょうから16番も不要。したがって8枠は消えたが的場騎乗はまだ消えないと考えて見る。G11周忌のレースで的場騎乗のカネツクロスにライスの霊が乗り移る。カネツクロスがライスの8枠に入らなかった場合がより連対の可能性が高まるはず。暑い夏は父内国産を狙え。当日ものすごく暑くなることを願っている。カネツクロスは今回宝塚が延びたのが逆に良かったクチ。本命だ。

牝馬は夏に強いというし、例年より1ヶ月延びたのは更に有利とみて、順調なダンスを対抗。安田記念を使ったローテーションも好感。3番手は、年寄りといってもハンデを背負っての快勝に価値がある、これまた内国産のケンザン。マヤノは敢えて単穴も外す。攻めというかやけくそ予想であるが、それだけJRAに罰を与えたいのである。

大穴候補として、武が乗ると別馬に変わるオースミと復調したカミノマジック。後者は本命との頭の字「カ」合わせて選択したに過ぎない。

まあ、あまり責任の持てる予想ではないことを最後に申し添えておきます。

さて、私事ですみません。もうほとんどの方は知っていると思いますが、11月に結婚することになりました。でもご安心。彼女は私が競馬をやることについてとやかく言いません。中山競馬場にはもう5回以上一緒に行っているぐらいですから。確かに賭け金は少なくなりましたが、情熱は変わりません。今まで通り、木馬会の幹事を勤めさせていただきます。今後とも妻ともどもよろしく願います。

さて、次号なのですが、まだいつとははっきり言えません。多分9月の中山開催中だと思います。その時には電子メール等でお知らせしますので、よろしく。

第37回 宝塚記念

[illegible][illegible]

○…～20倍 ◎…20～50倍 ☆…50倍～